

03 法学部

(定員205人) の英語教育に関する取組 (令和7年度)

就職活動
就職

TOEIC (L&R) 700点/800点以上取得を指導

大学院入試
進学

大学院入試では、外部検定試験(TOEIC,TOEFL,IELTS,GTECのいずれか)のスコアを合否判定のための資料とする場合がある。

必修

「演習Ⅱ」 (4単位)

ゼミである演習Ⅰの選考の際に英語の外部検定試験の結果を加味して選考をおこなっている

4
年
次
生

英語で学ぶ専門科目

「課題英語2」 (1単位)

指導教員が各演習のテーマ等に関する英語の課題を出し、成績評価を行う

選 択

必修

「演習Ⅱ」 (4単位)

ゼミである演習Ⅰの選考の際に英語の外部検定試験の結果を加味して選考をおこなっている

3
年
次
生

英語で学ぶ専門科目

「課題英語1」 (1単位)

指導教員が各演習のテーマ等に関する英語の課題を出し、成績評価を行う

必修

高年次英語 (1単位)

3年生から3つの履修コース「公共法政コース」「企業法務コース」「法律専門職コース」

選 択

「演習Ⅰ」 (2単位)

ゼミである演習Ⅰの選考の際に英語の外部検定試験の結果を加味して選考をおこなっている

2
年
次
生

2年生必修
英語科目

「アカデミック英語 (プレゼンテーション)」 「アカデミック英語 (ライティング)」 (各2単位)

各学生のレベルに応じて学術目的の英語を養成: Accuracyを重視して、英語によるプレゼンテーションができ、英文のリサーチペーパーが書ける力を身に付けます。

「外国書講読」 (1単位)

法学・政治学に関する専門的な洋書(英語)を講読する

キャリアパス英語

SPACE英語

1年生必修
英語科目

「コミュニケーション英語 (S&L)」 「コミュニケーション英語 (R&W)」 (各2単位)

各学生のレベルに応じて一般教養の英語を養成: Fluencyを重視して、英語によるコミュニケーション力を高めます。

海外研修プログラム

法学部
定員205人 (夜間20)

●法学部の英語学習の目標

法学部の英語学習の目的は、グローバル社会において法的・政治的な諸問題に対処するために必要な高度な言語スキルを獲得することです。英語学習を通じて、国際法、国際関係、グローバルビジネスなどの分野でのコミュニケーション能力を強化し、異文化理解を深めることにより、法学部生が国内外の環境で幅広く活躍できるように支援します。

●法学部の英語学習の特徴

法学部の英語学習は、コミュニケーション能力や異文化理解を培いながら、さらに専門的な英語力を高めることに焦点を当てています。3・4年次には「課題英語1・2」を通じて、法学・政治学の基礎的な英語文献を講読したり、その他の学業で英語を活用したりする機会が与えられます。これにより、学生は法律や政治に関する専門的な英語文献を活用するなどの能力を身に付け、グローバル社会で活躍するための幅広い英語力を獲得します。